
松ちゃんと長編

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

松ちゃんと長編

【Nコード】

N1434Y

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

活動報告よりのコピペ。週刊誌で吉本興業の元社長が現在の吉本について語っていて、それを読みながら、少し考えた。

タイトル 松ちゃんと長編

日付 2011年 11月 02日 (水) 01時 15分 5
4秒

長編四本をまとめてみて、やはり実験性が強いなあ、エンタメ性もまああるけど、実験性より弱いなあと感じる。

松ちゃんの映画にもこの傾向がある。そもそも松ちゃんは金持ちだから儲ける気が薄い。オレはオレでやばい。親が死んだ場合でも、固定資産税を支払えば、でかい家に住むことができる。

というより、華子が正社員ゆえに華子の実家に転がりこめば、食わせてもらえる。

アルバイトも所得は少ないが、餓死はない。

ゆえに切迫感に欠ける。派遣切りされてホームレスになった人だところはいかない。彼らには「溜め」がない。

「さや侍」は10億くらいかかっているけど、三割四割くらいしか利益が回収できてないらしい。要するに、売れてない。

ダウンタウンと付き合いの長い、吉本興業の大崎社長が松本映画には力を入れてるが、これはまあ、理由は二つ考えられる。

ひとつは、ダウンタウンよりスケールの大きい若手がなかなか出てこないこと。もし出てきたら、大崎社長は将来性を考え、そつちを応援するだろう。みんなおもしろいけど小粒である。ゆえに大崎さんとしても松本を支援するほかない。

ひとつは、これはどうにもならんことだが、

松本の映画に価値があること。価値がなければ後押しなんてしない。明らかに、松本の映画は価値が高い。大崎社長がプッシュするのは、興行成績よりも、芸術的遺産として、松本の映画を残したいという気持ちが強いのかもしれん。

とはいえ、赤字に近い感じだと、結局、芸人含む吉本の社員が賃下げになる。ひいては、社員の子供の小遣いが減ってかわいそう。だから、松ちゃんの今後の課題は、高い芸術性を維持しながら、興行成績を上げること。

興行成績を上げるのは簡単だと思う。笑ってはいけないシリーズの売り上げを見ればわかる。ものすごい枚数売ってる。

ただ、笑ってはいけないシリーズに芸術性はない。おもしろいオンリー。一過性の雰囲気強い。

芸術性を高めるのも簡単だと思う。松本の意思の強さは半端ない。強靱な精神力を持つてるから、芸術道にまい進するのは、松ちゃんの性格から自然なことだと思われる。

しかし、芸術性を高めると、興行成績が落ちる可能性も高くなる。芸術は難解だから広く浸透しにくい。つまりそもそも売れない要素を抱えてる。そうなると、吉本社員の子供が困ることになる。貧乏になる。

だから、葛藤が必要だ。

オレの場合だと、文学性とエンタメ性の葛藤だ。

文学性の追求は文学を発展させる。とはいえ、文学性は売れるのを阻害することがある。どちらかというと実験的な要素が強いからだとなると、出版関係者が儲けることができず、貧困に苦しむはめに陥る。まあ大人はかまわんにしても、印刷所のおっさんや、本を運ぶトラックの運ちゃんの子供の小遣いが減るのは心苦しい。

エンタメ性を追求すれば、売れる。とはいえ、エンタメ性は、文学を衰退させる可能性を抱えている。どちらかというと実験を拒む性質を持つてるから。

となると、文学の伝統を守ったり、良質の文学を生産することが難しくなることにもつながる。そうなると、いったい何のために書いてんだったってことになり、本末転倒となる。

だから、とにかく葛藤がいる。

公開設定：公開中

記事一覧に戻る

編集

削除

コメントを投稿する

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1434y/>

松ちゃんと長編

2011年11月2日02時04分発行